

氏名	假谷 伸
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第 4050 号
学位授与の日付	平成17年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Role of Macrophage Migration Inhibitory Factor in Otitis Media with Effusion in Adults (成人の滲出性中耳炎におけるマクロファージ遊走阻止因子の役割)
論文審査委員	教授 保田 立二 教授 中山 睿一 助教授 山村 昌弘

#### 学位論文内容の要旨

マクロファージ遊走阻止因子 (MIF)は1966年に報告されたサイトカインである。今回我々は滲出性中耳炎に対する MIF の関与を明らかにするため、中耳貯留液中の MIF、エンドトキシン、IL-1 $\beta$ 、TNF- $\alpha$ 、RANTES 濃度を測定し、滲出性中耳炎の成立機序について考察を行った。対象は滲出性中耳炎106例で中耳貯留液中の MIF、IL-1 $\beta$ 、TNF- $\alpha$ 、RANTES 濃度を ELISA 法にて測定し、エンドトキシン濃度はエンドスペック法にて測定した。また、貯留液中のタンパク濃度はBCAアッセイにて測定した。MIF は106例中102例で検出された。また、エンドトキシン、IL-1 $\beta$ 、TNF- $\alpha$ はそれぞれ100例、14例、5例から検出された。MIF、エンドトキシン、IL-1 $\beta$ 、TNF- $\alpha$ の平均濃度はそれぞれ 1782.28、148.53、21.71、6.06 pg/mg Total protein であった。MIF は滲出性中耳炎の中耳貯留液中に高頻度かつ高濃度に存在し、エンドトキシンを起点として惹起される炎症性サイトカインネットワークの中で重要な役割を果たしている可能性が示唆された。

#### 論文審査結果の要旨

滲出性中耳炎に対するマクロファージ遊走阻止因子(MIF)の関与を明らかにするため、中耳貯留液中の MIF、エンドトキシン、IL-1 $\beta$ 、TNF- $\alpha$ 、RANTES 濃度を測定し、滲出性中耳炎の成立機序について考察を行った。MIF は 106 例中 102 例で検出された。また、エンドトキシン、IL-1 $\beta$ 、TNF- $\alpha$ はそれぞれ 100 例、14 例、5 例から検出された。MIF、エンドトキシン、IL-1 $\beta$ 、TNF- $\alpha$ の平均濃度はそれぞれ 1782.28、148.53、21.71、6.06 pg/mg Total protein であった。MIF は滲出性中耳炎の中耳貯留液中に高頻度かつ高濃度に存在し、エンドトキシンを起点として惹起される炎症性サイトカインネットワークの中で重要な役割を果たしている可能性が示唆される結果を得た。

著者らは MIF の滲出性中耳炎における重要性を示し、今後の病態機構の解明の端緒をつかみ、今後の発展も見込める研究をおこなった。よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。